

2025年度 KOBEゼロカーボン支援補助金 支援した活動の紹介（35件）

	No.	申請者名 (代表申請者名のみ)	活動の名称	活動概要
スタンダード枠 (上限300万円)	1	六甲バター株式会社	工場からでるチーズ廃棄物から作るチーズ発酵肥料の製品化に向けたテストおよびQBBエコシステムの確立	本来廃棄されるロスチーズを「チーズ発酵肥料」に作り変えることで、0.512t-CO2/年のCO2を削減、また市民向けのワークショップを開催し、脱炭素の取組みを発信。
	2	一般社団法人 須磨里海の会	海藻藻類を利用したブルーカーボン増大事業	須磨海岸において藻場拡大の取組みにより5.5t-CO2/年のCO2を固定、藻場拡大のための環境調査や効率化技術の検証やイベントによりカーボンニュートラルを啓発。
	3	神戸市立工業高等専門学校	電動小型海底耕うん機の開発・運用	小型の海底耕うん機を開発し、ブルーカーボン活動の加速、効率化により、0.00009t-CO2/年のCO2を削減、展示などによりブルーカーボンを啓発。
	4	白鶴酒造株式会社	発酵由来CO2を活用した省エネルギー型室内農業	清酒製造で発生するCO2を植物(ハーブ)の成長促進として再資源化し、化石燃料の利用削減によって0.614t-CO2/年のCO2を削減。また、施設内に本活動に関する展示や栽培したハーブを原料とした酒の試飲イベントを開催。
スタンダード枠 (上限100万円)	5	一般社団法人一十土	竹の力で暖まる！持続可能な温水床暖房体験ワークショップ	北区大沢町において竹林整備をおこなうとともに、竹ボイラーを導入し、温水床暖房体験や沸かしたお湯を利用した足湯体験を通じて、家庭での省エネに向けた行動変容を啓発。
	6	NPO法人 PVネット兵庫グローバルサービス	自然と共生する都市型小水力発電所の森における都市山整備と山林資源活用	灘区六甲川の小水力発電設備設置エリア周辺の放置竹林整備に加え、バイオ炭や木材チップを製造、小水力発電の見学やグリーンウッドワークショップ、自然エネルギーの普及をテーマとしたフォーラムなどを開催。
	7	和田 涼司	放置竹林、間伐を利用したのワークショップ	長田区長者町において、放置竹林の整備を行い、子ども向けに間伐材を使用したランタン作りなどのワークショップを開催し、子ども達にも伝わるようなわかりやすい説明で、カーボンニュートラルを啓発。
	8	工藤 祥	農用林・薪用林として里山林を復活せよ！	北区大沢町において森林整備を実施し、間伐材をシイタケ栽培や薪割体験などのイベントで活用、資源循環や農村森林問題に関する学びを提供。
	9	兵庫漁業協同組合	兵庫運河の藻場・干潟と生き物の生息場作り	兵庫運河でブルーカーボン事業としてアマモの播種や移植、藻場・干潟の保全を実施し、幅広い年代向けに学び・体験の機会を提供。

10	中井 一夫	須磨区白川地区 里山整備活動	須磨区白川地区の森林整備を実施し、バイオ炭やキノコのほだ木作りなどを実施、伐採した樹木や竹を活用したワークショップの開催で森林整備の必要性を啓発。
11	伊與田 安正	上穂川フィールドの再生・活用	須磨区多井畑で放置竹林を整備、ポーラス竹炭の製造でしCO2を固定化、また市民向けに竹の再資源化をおこなう体験プログラムを実施し、脱炭素や循環型社会について学ぶ機会を提供。
12	倉内 敏章	コーヒーきのご実験	廃棄されるコーヒーかすと米ぬかを活用したきのご栽培の実証実験、地域住民を対象とした収穫体験を開催し、廃棄物がどのように資源化され、脱炭素につながっているのかを学ぶ機会を提供。
13	社会福祉法人すいせい	障害者就労支援事業が協働する神戸市内SDGs事業連携モデル	障害者を含む参加者による竹林整備と竹炭製造、竹炭をすきこんだ畝で収穫したハーブを使ったアロマ蒸留や竹活用のワークショップを実施。
14	中村 淑樹	神戸の里山放置林の森林整備による二酸化炭素吸収・固定化促進事業(4年目)	北区小河山林の森林整備や伐採木の活用等で、森林吸収源対策に貢献、森林整備の参加者及び見学者に森林再生能力の高さや里山林との関わりについて体感する機会を提供。
15	上垣内 賢司	ゼロカーボン×里山スイーツで学ぶ：KIDS未来への物語	北区淡河町にある活動拠点においてV2H機器を導入し、再エネ電力を活用したクッキングイベントやワークショップの開催で、体験を通じた脱炭素の機運醸成を行った。
16	砂田 安菜	廃材×デザインで広げる、循環型ライフスタイル実証事業	再資源化の取組として、廃材を利用したジュエリー製作、またその展示会において脱炭素行動に繋がるライフスタイルの転換を後押し、行動変容を啓発。
17	SINGH RAJEEV KUMAR	竹のチカラでつくるゼロカーボン社会 ～白川から始める持続可能な暮らし～	須磨区白川地域の竹林整備、竹チップ及び竹パウダーを製造しコンポストに使用、また、ワークショップを開催し、脱炭素に繋がる暮らしを学ぶ機会を提供。
18	佐藤 智帆	おやこ海じかん ～ひろってつくる未来～	須磨海岸において、親子で参加するビーチクリーン活動を実施し、回収した素材でオリジナル作品を制作するワークショップを開催、拾ったごみが資源となる実体験を通じて、脱炭素ライフスタイルの重要性を親子で学ぶ機会を提供。
19	NPO法人 KOBE CRAFT WORKS	竹炭活用のバイオトイレ設置ワークショップ&竹活用イベント開催	北区淡河町の竹林整備を行い竹炭づくりやバイオトイレの設置で竹林整備の必要性を啓発。
20	社会福祉法人縦の木福祉会	耕作放棄地での緑肥栽培を通じた有機農業の実証事業	西区神出町の耕作放棄地において緑肥栽培を実施し、土壌の炭素貯留を促進、障害者を含む近隣住民に栽培・収穫体験の実施でゼロカーボンについて学ぶ機会を提供。

	21	山崎 正夫	海と山を繋ぐ、神戸らしい脱炭素社会プロジェクト	山林資源の樹木をスキューし、利活用についての検討、海と山を繋げるためのイベントや里山の地域材を循環させるための鍵となる製材所についての連続講座を行った。
	22	NPO法人 須磨ユニバーサルビーチプロジェクト	KOBEタケノコメンマプロジェクト	須磨区多井畑において放置竹林の整備を行い、若竹を活用したメンマづくり、試食会などを通じた啓発。
	23	石田 篤	神戸におけるカーボンファームिंगの普及	カーボンファームिंगを実践し、その農法について農業関係者に向けに共有を行った。
	24	合同会社廃屋	古材を再資源化、素材を活かし捨てない社会へ	廃棄される古材や家具などを資源として再活用することで、新たな伐採や焼却によるCO2の排出抑制などに貢献、体験型ワークショップを開催。
	25	合同会社神戸白黒	まもってそだてる森づくりプロジェクト	北区長尾町の森林整備しバイオ炭を製造、資源循環の体験活動として市民や学生を対象とした炭焼き体験や自然素材を活用したワークショップを開催。
	26	角野 史和	地産地消の野菜づくり・堆肥づくりによる循環型地域住環境整備事業	長田区と垂水区の空地を利用した交流菜園において、堆肥場を整備し廃棄される刈草や野菜くずから堆肥を製造、堆肥づくりのワークショップを開催。
学 生 枠	27	ゲンフックハイタン	留学生と考える神戸発ゼロカーボン発信プロジェクト	リサイクルショップや地元農産物の選択など、日常生活の中で実践できる行動をSNSを通じて紹介。
	28	中原 由香利	学生団体Re.colab KOBEによる里山ゼロカーボン再生事業を発端とする啓発活動	竹林整備を実施、またSNSやワークショップを通じて「ゼロカーボン・ファーム」の実現に向けて活動する自分たちの取組を発信し、周囲の機運醸成に取り組んだ。
	29	藤田 凌伍	BambooにThank you Project	竹林整備や竹製品の開発をおこなうとともに、SNSを通じて自らの活動を発信し放置竹林問題について啓発し、周囲の機運醸成を図った。
	30	高須賀 泰雅	キャンパスコンポストプログラムの構築：排出削減と持続可能性の推進	大学内にコンポストを設置し、有機廃棄物を堆肥化させるとともに、コンポストに関するワークショップを開催し環境問題に対する理解促進と参加意識向上に取り組んだ。
	31	寺本 想真	「KOBEから、わたし発」——暮らしのエコヒントプロジェクト	地域にある銭湯が取組んでいるエコ活動を取材し紹介するとともに、日常生活のちょっとした脱炭素につながる行動をSNSを通じて発信した。
	32	川向 宇瞳	MANTAN プロジェクト	建築廃材を活用したワークショップやトークイベント、展示会を開催、SNSを通じてワークショップの風景や廃材活用の魅力を発信し、周囲の機運醸成を図る。

	33	菅野 佑志	丸山改修プロジェクト	竹林整備を実施、竹を活用した家具（椅子）の制作や竹パウダーを活用したコンポストを設置を行い、本活動の様子をSNSを通じて発信した。
	34	根来 真弥	地球温暖化対策の概要と神戸大学農学部での取り組みについての紹介	オープンキャンパスに来た高校生に対して、脱炭素に繋がる研究(米ぬかを用いた化粧品や食品の開発)をポスターやチラシなどを用いてわかりやすく説明し、機運醸成を図った。
	35	門 雅稀	Instagramを用いた神戸市里山材の流通促進に向けた周知活動	里山の機能や資源活用に関する取材を行い、キャラクターが里山を紹介する動画や投稿などを作成し、Instagramを用いて発信。